

令和3年1月8日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

一般財団法人
北海道国際交流センター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 北海道科学大学 看護学科 講義
- 企画実施概要:**
- ①目的 学内において教職員並びに学生の国際感覚を養成するため、NGOにおける国際協力活動を紹介する。
 - ②企画内容
 - ・アフリカウガンダでの支援活動について
 - ・SDGsについて
 - ③対象者および参加予定人数
看護科1年生 90名 オンラインで開催

2 出張者氏名

岡田 朋子

3 依頼元／主催団体名

北海道科学大学 教授 小川直久氏

4 実施日時

2020年12月18日(金) 9:00～10:30

5 実施場所

北海道国際交流センター 事務所(オンライン)

6 実施報告

参加人数66名

多人数でのオンライン講義ということで、学生の顔だしはなく、一方的に話す講義となった。講義中に動画やクイズを入れ、なるべく飽きないように工夫したが、やはり反応がない中での講義は難しいものがあった。ただ、最後の質問の時間には、チャットで学生から多くの質問があり、反応がみえないながらも興味を持ってきてくれた様子だった。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

令和3年5月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 令和2年度「1年生異分野融サイエンス(FS)探究研修」

企画実施概要:

①実施内容

- 1 ODA事業であるIVYの国際協力活動について紹介
- 2「パーム油」について知る・考える開発教育ワークショップ(開発教育協会制作)

パーム油生産地の今の問題をより現場に近いところから知ること、そして私たち消費者がどのように関わっていけるのかを考えていった。

②対象者および参加人数

第1学年 生徒 26名

2 出張者氏名 阿部真理子

3 依頼元/主催団体名 山形県立米沢興譲館高等学校



4 実施予定日時 令和2年12月3日 (木) 10:00~11:40

5 実施場所 会場名:山形県立米沢興譲館高等学校(山形県米沢市)

6 実施報告

- ・国際協力活動を初めて詳しく知ることができた。
- ・実際にNGO活動に関わってみたいと思った。
- ・パーム油をめぐる問題がこんなにあることを知り、自分に何ができるか考えてみたい。
- ・(教員)パームだけでなく、熱帯林の伐採による影響、児童労働、環境問題といろいろな方向に展開する内容に驚いた。生徒も非常に関心を持って臨んでいたようだ。

7 写真

| | |
|---|--|
|  |  |
| SDGsとパーム油の関係を説明 | パーム油をめぐる写真にキャプションをつける |

(写真1)

(写真2)

以上

令和3年5月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 開発教育指導者セミナー

企画実施概要:

①開発教育指導者セミナー概要

開発教育指導者セミナーは、JICAが実施する教師海外研修者や協力隊OB(教員職種)の方々をメイン対象とし、国際理解教育の継続と質の向上、普及を目的として実施している。同セミナーは1日かけて実施予定で、相談員出張サービスはそのうちの午後(13時～15時)を担当する。

②企画内容

・NGO相談員制度の説明、IVYの説明

・オンラインワークショップ(世界の課題やSDGsなどを踏まえながら、新学習指導要領前文で述べられている「持続可能な社会の創り手」とはどんな子どもたちなのか、創り手を育むために、教師に求められているものとは何かを考える)

※オンラインで実施のため、ワークショップを円滑に進められるよう、相談員1名(阿部)が全体ファシリテーターとなり、もう1名(小笠原)はzoom操作を行う。

③目的

・教員のODA・国際協力、SDGs・グローバルイシューに関する理解の促進、および、JICA教師海外研修過年度参加者・青年海外協力隊OV教職員等の交流・意見/情報交換の促進により、開発教育の実践を支援し、その質を向上させる。

・開発教育の実践を促進することにより、児童・生徒の国際協力への理解と参加を促進する。

④対象者および参加予定人数

11人(JICA東北教師海外研修過年度参加者、青年海外協力隊OVの教員、JICA国際協力推進員、JICA東北スタッフなど)

2 出張者氏名 阿部 真理子、小笠原 直子

3 依頼元/主催団体名 独立行政法人国際協力機構 東北センター

4 実施予定日時 令和2年12月6日 (日) 13:00 ~ 15:30

5 実施場所

6 実施報告

・自分の今後の取り組みのヒントを得ることができました。

・いろいろな視点からSDGsを考えることができました。今後の実践に生かしたいと思います。

・テーマについて、いろいろな角度から考えることができました。

7 写真

| | |
|---|--|
|  |  |
| <p>ワークショップの流れについて説明を行う相談員。</p> | <p>研修には、東北および関東の小、中、高校教員が参加し、「持続可能な社会の創り手」について意見交換を行なった。</p> |

(写真1)

(写真2)

以上

令和3年5月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 令和2年度「国際探究科2年 国際理解講座」

企画実施概要: ①実施内容
1 ODA事業であるIVYの国際協力活動について紹介
2「パーム油」について知る・考える国際理解ワークショップ(開発教育協会制作)
パーム油生産地の今の問題をより現場に近いところから知ること、そして私たち消費者がどのように関わっていけるのかを考えていった。

②対象者および参加人数
第2学年 生徒 約25名

2 出張者氏名 阿部真理子

3 依頼元/主催団体名 山形県立米沢興譲館高等学校

4 実施予定日時 令和2年12月25日 (金) 13:35~15:35

5 実施場所 会場名:山形県立米沢興譲館高等学校(山形県米沢市)

6 実施報告
・山形にこのように国際協力をやっている団体があることを初めて知った。
・あらゆるものがパーム油を原料としており、消費者としてそれを使用していることを知った。売られているものの背景にも関心を持つことが大事だと感じた。
・(先生から)国際の探求コースに、こうやって海外と実際に関わっている団体が来てくれるのは、生徒にとってとても刺激になる。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

令和3年1月6日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

「貿易ゲーム」ワークショップの実施

企画実施概要:

①実施内容

- ・ODA事業であるIVYの海外事業、NGO相談員制度について紹介
- ・「貿易ゲーム」ワークショップの実施

②対象者および参加人数

聖霊女子短期大学附属高等学校 国際コース 1、2年生56名、教員5名

2 出張者氏名

鈴木 文人

3 依頼元／主催団体名

聖霊女子短期大学附属高等学校

4 実施予定日時

令和2年12月28日 (月) 9:00～12:00

5 実施場所

聖霊女子短期大学附属高等学校(秋田県秋田市)

6 実施報告

国際コースの生徒は、毎年JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテストに応募するなど年間を通して、国際理解に取り組んでいるため、生徒自身が試行錯誤を重ね、活発に意見交換をしていた。

以下、生徒の感想より抜粋

・道具がたくさんあっても紙がなかったため、作業が難航した。他国と協力して作業することで自国の収益に繋がったので自国だけで行うのではなく他国の助けも大事に感じた。

・最初のODA事業の説明などを聞き、貿易ゲームを行ったことで、実際に貿易ゲームのようなことが世界規模で行われていることを感じ、自分も何かできることがあるのかなと思いました。将来は、国際協力ができたらいいなと思います。

7 写真



IVYの海外事業や貿易ゲームについての説明の様子

(写真1)



貿易ゲームにて生徒たちで意見を出し合う様子

(写真2)

以上

令和3年1月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
国際協力NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 国際協力キャリアフェア2020

企画実施概要： ①企画内容：国際協力分野でのキャリアを考えている来場者に対し、求められる人材や職種、待遇面や情報入手の方法など、NGOへの就職を目指す上で必要とされる知識や心構えなどについて情報提供および、相談対応を実施する。

②目的：国際協力分野でのキャリアに関する具体的な情報の提供および相談を実施することで、国際協力およびNGOに対する理解促進をはかる。

③対象：国際協力業界での就職を考えている大学生、大学院生、社会人セミナー：「NGOで働くとは」参加者約90名
個別相談：1、2人でグループ相談30分間 計15名。

2 出張者氏名 山田直樹

3 依頼元／主催団体名 株式会社国際開発ジャーナル社

4 実施予定日時 令和2年12月12日（土） 10:00～19:00

5 実施場所 オンライン（zoom）

6 実施報告 <参加者の声>
大学教員で哲学・法を教えている方に対して、国際協力やNGO就職への道などご相談を受け、NGOとしての関わり方、国際協力に関わる分野などアドバイスを行った。

将来バングラディッシュの労働改善に関して仕事をしなく、就職か大学院へ進むか質問を受け、キャリア形成に間するアドバイスを行った。

現在NGOでインターンしている学生から、効果的な広報方法や戦略に関して、他団体を参考にしながらアドバイスを行った。

7 写真



（写真1）

（写真2）

以上

団体名

特定非営利活動法人
開発教育協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

清里ミーティング2020 オンライン

企画実施概要:

全国の環境教育、環境問題などに関心がある参加者に「SDGsや開発教育、国際協力」などに関するワークショップを開催する。また、開発教育や国際協力に関する書籍や資料の説明、相談の受付を行う。

2 出張者氏名

八木亜紀子

3 依頼元/主催団体名

公益社団法人日本環境教育フォーラム(JEEF)

4 実施予定日時

2020年12月8日(火)

14:00~15:30

5 実施場所

オンライン(ZOOM利用)

6 実施報告

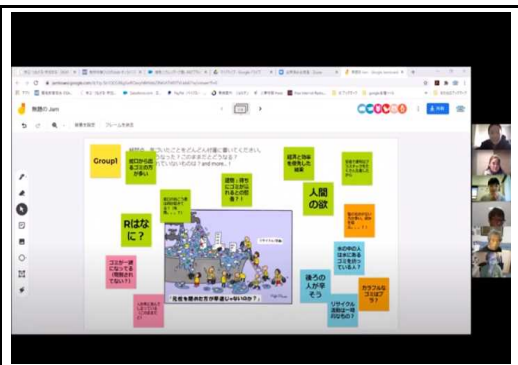
ワークショップでは「プラスチックごみ」をテーマに、身近なモノから持続可能な社会やグローバルな課題について考え、国際協力や開発教育について情報提供を行った。
全国、また、海外より24名の参加があり、相談員制度について広く知っていただく機会となった。事後に、個別相談につながった方もいらした。

7 写真



参加者の皆さまとDEAR八木(左列上から2番目)

(写真1)



グループワークで意見を出し合い、共有した。

(写真2)

以上

令和2年12月25日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
名古屋NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 国際協力カレッジ2020

企画実施概要: ①実施内容 主に「活動紹介～多様な国際協力の活動を知ろう」にて個別相談対応し、国際協力分野でボランティアやインターンをしたい、NGOで就職・転職を希望したいという参加者に情報を提供した。

②対象者および参加人数 学生、社会人など80名

2 出張者氏名 村山佳江

3 依頼元／主催団体名 JICA中部(事務局:名古屋NGOセンター)

4 実施予定日時 令和2年12月19日 (土) 13:00～17:30

5 実施場所 オンラインにより実施

6 実施報告 スポーツを活かした国際協力をしたいという学生の相談に応じた。地域を問わず、全国のスポーツを通じた国際協力を実施しているNGOやODAの活動を紹介した。またNGO相談員も併せて広報した。コロナ禍におけるNGO活動について知りたいという一般の方から相談があった。当団体にて把握しているコロナ禍におけるNGOの取り組みの状況をお知らせし、その取り組みが掲載された会報誌を紹介した。中部地域の高校生より実施しているNGO活動について同じ年代で関心を持つ人のボランティア募集について相談があった。具体例を挙げて説明し、関連する情報を提供し、アドバイスを行った。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

令和3年1月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
ピースウィンズ・ジャパン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：

「総合的な探究の時間」「地理の授業」

企画実施概要：

①実施内容

「総合的な探究の時間」

・発表者が、高校1年生に向けてNGOの活動やそれに携わる人としてどのような人生を生きてきたかについて講義する。

「地理の授業」

NGOの活動についてや、発表者の専門地域の概要、問題点について講義をする。

②対象者および参加人数

「総合的な探究の時間」高校1年生40名程度、「地理の授業」高校3年生10名程度

*以下は「総合的な探究の時間」について報告を記載した。同じ高校でふたつの別授業だったので、別々の報告書として記載。

2 出張者氏名

田邊圭 安田あゆみ

3 依頼元／主催団体名

島根県立矢上高等学校

4 実施日時

「総合的な探究の時間」令和2年12月14日(月)15時20分～16時10分(その後、図書館で交流会16時30分～17時30分もあった)、「地理の授業」令和2年12月15日(月):9時40分～11時30分

5 実施場所

〒696-0198 島根県邑智郡邑南町矢上3921
島根県立矢上高等学校

6 実施報告

「総合的な探究の時間」

高校1年生に向けてNGOの活動やそれに携わる人としてどのような人生を生きてきたかについて講義をした。

当日はNGO相談員(ピースウィンズ・ジャパン)から田邊圭と安田あゆみが発表を行った。生徒はコロナ対策で密を避けるために約10人×6グループの教室に分かれて、NGO相談員2名がそれぞれ2グループを受け持ち、計4グループで話をした。

相談員からは、それぞれ、自分自身の高校、大学、そして社会人となって、どういうことがあって、そのときどきの時代にどう考え、どういう人生選択をしていったか、自分の現在の考えや仕事内容を話をした。この総合的な探究の時間という授業は、様々な職業の人から話を聞くシリーズであるが、国際協力にかかわった人の話は今回がはじめてであった。地方の中でも僻地の高校で、国際的なかわりというのは地元でほとんどなく、普通科と産業科(農業、工業)があり、進路は半分以上が専門学校や就職の高校である。今回の講義を通じて、自分がやりたいことを探すこと、多様な選択肢を持つことの大事さ、外でいちど学ぶそして地元に戻ってくることで新たに覚えてくること、そして地元のために働くことへの興味、自分の可能性はいろいろ無限にあること、興味を持ってチャレンジすることなど、生徒たちにとっては生き方を考えるきっかけになった。

生徒がひとりひとり感想を記入し、学校がシェアーいただいた。高校からの前情報では海外や国際協力を興味がる生徒はほとんどいないということであったが、話をきっかけに興味をいだいたり、直接に国際協力ではないが、生き方を考えるきっかけになったことがうかがえた。感想から抜粋「いまは何がやりたいかはわからないが、やりたいこと興味のあることをやりたいと思った、たくさんチャレンジしたい、興味のあることをもっと探してみようと思った、お話を聞いて海外に行ってみようと思った、自分を一度違う場所で見つめなおすことで何かわかるかもしれない、多くの人の力になりたい、海外で働くことに興味があるので集中して聞くことができた、海外で視野を広げてみたい、「流れにまかせて進路を決めていたけど、これからは興味あることに向かって生きていきたい、(発表者が)いまは地元のことをやっているのがすごいと思った、地域をつなぐ役割になりたいというのは素敵な考え方だと思った、結局はいろいろなことに興味を持って、きっかけをつくらないといけないなと思った、環境を変えようと思いつかないことが思いついたり、やりたいことが見つかったりする、人助けをするのはすごいことだと思ったし、いろいろなことに挑戦をして経験を積み重ねていって、いろんな仕事についていけたらいいと思った、自分は海外に怖いイメージがあったけど少しづつかかわりを持って今後につなげられたらいいと思った、挑戦・経験・勉強、無駄な経験は無いと思った、本当にやりたいことが見つかるまでゆっくり時間をかけたい、自分の知識・経験が人と違ってそれが強みになる、自分の選択肢を増やしたりすることも大切なんだと思った、どの分野でも仕事の仕方は多いのでそこから選択肢を探すのも大事だと思った、自分にしかできないことにつなげて思考を深めていく、たくさん印象に残る言葉があった、興味のある分野はあるけど本当にこれがやりたいのかということがわからない人いるんじゃないかな?と言われて、私のことだとハッとさせられました、自分にもできることがあるかもしれないという考えを常にもって生活したい、いままで聞いた人とはまた違う話で興味深かった、ほんとに自分のやりたいことのかかわり方は無限大だと改めて思いました、できないできないと悩むんじゃなくて自分のできることを探して自信を持つことも大切だと思いました、まだひとつに絞らず色々な見方をしていけたらなと思います、、やりたいことに挑戦して、その先にまたやりたいことが見つかって充実した生活を送ることができると思いました、

7 写真



講義の様子

(写真1)



講義の様子

(写真2)

以上

令和3年1月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
ピースウインズ・ジャパン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 「総合的な探究の時間」「地理の授業」

企画実施概要： ①実施内容
「総合的な探究の時間」
・発表者が、高校1年生に向けてNGOの活動やそれに携わる人としてどのような人生を生きてきたかについて講義する。
「地理の授業」
NGOの活動についてや、発表者の専門地域の概要、問題点について講義をする。
②対象者および参加人数
「地理の授業」高校3年生10名程度
*以下は「地理の授業」について報告を記載した。同じ高校でひとつの企画のふたつの別授業だったので、別々の報告書として記載。

2 出張者氏名 角免 昌俊

3 依頼元/主催団体名 島根県立矢上高等学校

4 実施日時 「地理の授業」令和2年12月15日(月):9時40分～11時30分

5 実施場所 〒696-0198 島根県邑智郡邑南町矢上3921
島根県立矢上高等学校

産業技術科の3年生33名に対して、「世界の難民」というテーマで、世界中で発生している難民問題の状況や原因、NGOの活動について講義した。

6 実施報告 難民の発生状況や難民キャンプにたどり着くまでの過程をシミュレーションを通して、難民がおかれている状況について話し合ってもらった。その中で感じたことや国際社会に求める支援とは何か、また支援の必要性について発表してもらうことで、難民問題への関心を高めた。

後半は、当会の活動紹介を通して、緊急支援での受入国、国連、国際NGOの活動を説明した。NGOや国連の活動には、スフィアスタンダードなど基準があることを紹介し、国連や現地政府との連携や参加型の支援方法について説明した。

7 写真



講義の様子

講義の様子

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年12月22日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名 特定非営利活動法人
ピースウインズ・ジャパン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 岡山未来デザイン～YOUTH×SDGs×グローバル～

企画実施概要： ①実施内容
・海外および国内におけるSDGsにつながる活動についての講演
・SDGsにまつわるトークセッション

②対象者および参加人数
SDGsに興味がある中・高校・大学生および一般県民
定員80名 参加人数48名程度

2 出張者氏名

角免 昌俊

3 依頼元／主催団体名

一般財団法人岡山県国際交流協会

4 実施予定日時

令和2年12月12日(土)13:00～16:00

5 実施場所

オンライン ZOOM meeting 使用

SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」をテーマに、国内外の取り組みについて発表した。

6 実施報告

国際支援活動として、緊急から復興・復旧、開発のステージを通じた支援内容や、緊急から開発までの支援を一貫して行うことで、地域住民の自立を促し、今回のテーマである住み続けられるまちづくり貢献できていることを、東ティモール事業を事例として説明した。

また、海外での支援活動を通して、東日本大震災や西日本豪雨災害での国内災害での活動や、地域創生事業にも影響があり、海外とのつながりが、国内の活動にも影響していることも報告した。

7 写真

※オンラインイベントのためなし



発表の様子

(写真1)



全体の様子

(写真2)

以上